

私のクールチョイス
⑤ 私のCOOL CHOICE 大募集!事業 受賞者(その1)

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

- 【買い替え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
- 【サービス】公共交通の利用やエコレーンマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
- 【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど



【買い替え】(台数を減らして高効率な冷蔵庫に)

農業のかたわら、エコINNKろせ(地域協議会)で活動しています。電気やガソリンなどの使用量を5年以上記録しており、特にエコドライブに取り組んでいます。最近、2台あった冷蔵庫を1台(エコナビ機能付き)に減らしました。また、季節によって生活する部屋を変えて、エアコン不要の生活を送っています。エコドライブは当然と思っていたので、正直、エコドライブでの受賞は意外でした。きっかけがあれば、誰でもクールチョイスに取り組めます。自分の生活を日常に見直し、無駄を減らしていきましょう。(小原義昭さん/エコINNKろせ)

第5回は「私のCOOL CHOICE大募集!」事業の受賞者のみなさまに、日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」を紹介していただきます。



【ライフスタイル】(フードロスの削減)

くれ環境市民の会およびエコINNKろせで活動しています。近年は食品ロスが気になり、食品売り場ではなるべく賞味期限に近い食材を購入します。すぐに使い切る必要があるため、買い物前に冷蔵庫の中身を確認する習慣ができました。エコクッキングでは始めに「食べ残しをしない」「水を無駄にしない」ことを子どもたちに伝えます。その後の調理で残さず食べ、蛇口のひねり具合に気を使っている素直な子どもたちの姿を見ると嬉しくなります。今後いろいろな地域協議会の話聞ききたいので、交流しながら活動を盛り上げていきましょう。(吉川美幸さん/くれ環境市民の会・エコINNKろせ)



【ライフスタイル】(ものを大切に)

くれ環境市民の会での環境啓発活動と、女性グループでの着物を使った服、バッグへのリフォームを中心に活動しています。近年は「断捨離」の流れからか、もったいない・モノを大切に使うという感覚が薄いと感じています。子どもたちに話しかけるときは「将来モノがなくなった時どうする?」と問いかけ、考えるきっかけを作ることを意識しています。古いものを大事にする心や、「自分ごと」として考えるきっかけとなればうれしいです。各地に仲間を増やしたいので、一緒に活動を続けて、がんばっていきましょう。(大野喜子さん/くれ環境市民の会)

基礎研修は、公衆衛生推進委員の任務や活動の進め方を学び、環境・健康募金(旧健康感謝募金)の活用方法を学ばせていただきます。

～基礎研修のすすめ～
講師派遣と講師育成事業の活用を



平成28年度の基礎研修の開き方コース

謝礼金のしくみや各市町公衛協で掲げた事業などを理解してもらう研修会です。新任の推進委員を主な対象とし、「公衆衛生推進手帖」を活用して、各市町公衛協が開催します。

環境協では、下のとおり基礎研修の講師を派遣していただきます。

講座形式で開催します。近隣公衛協にも開催情報を案内し、より多くの方が基礎研修の開催に係わるノウハウポイントを学べるようにします。出張講座の申し込みは、地域活動支援センターまでご連絡ください。(地域活動支援センター)

<講師派遣について>

- 派遣先:市町公衛協及び支部・地区・学区公衛協。
- 参加対象者:公衆衛生推進委員及び事務担当者、その他必要と認められる関係者。研修対象者の7割以上が参加できるように呼びかけて下さい。

●所要時間:原則1時間

●内容:「2017公衆衛生推進手帖」を使用した地区衛生組織活動概論、市町公衛協の活動テーマに沿った情報提供。手帖を持参するように呼びかけて下さい。

(留意事項)

予め電話で日程を調整し、指定の申込書に必要事項を記入して、原則実施日の1週間前までに環境協地域活動支援センターへ提出してください。派遣する講師及び講師が使用する資料に係る経費は環境協が負担し、その他の経費は公衛協で負担してください。

『ひろしまヘルスケアポイント』スタート

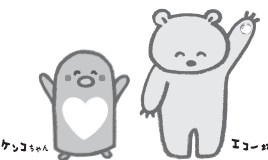


楽しくお得に健康づくりに取り組みましょう。詳しくはWEBでご確認ください。

ひろしまヘルスケアポイント

<https://point.hm-net.or.jp/KenminPoint/>

平成28年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成28年度で57回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円)

57,608,831



市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,667,450	97.0
海田町	2,399,179	94.9
熊野町	1,433,640	100.9
坂町	374,100	107.7
江田島市	1,854,150	99.0
竹原市	1,679,900	97.6
大崎上島町	341,000	99.5
大竹市	2,536,362	100.0
廿日市市	3,387,952	99.8
廿日市市大野	2,527,300	99.7
廿日市市佐伯	411,121	102.1
廿日市市吉和	53,000	83.6
廿日市市宮島	203,605	97.5
安芸太田町	755,050	99.5

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,094,700	97.8
安芸高田市	2,141,100	99.7
東広島市	4,484,643	100.8
三原市	1,768,220	98.3
世羅町	908,950	95.9
尾道市	4,480,000	99.7
福山市	8,905,794	97.5
府中市	1,096,726	100.3
神石高原町	290,200	90.0
三次市	2,472,954	101.5
庄原市	2,520,870	103.3
呉市	7,765,653	97.3
その他	55,212	82.5
合計	57,608,831	98.8

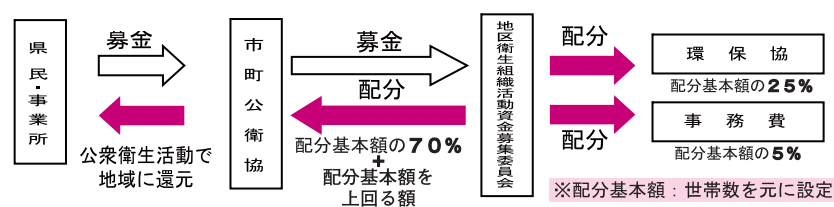
市町別一覧表

※この表は、平成29年3月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

要綱を改正しました

平成29年4月1日付けで環境・健康募金の要綱を改正しました。2017公衆衛生推進手帖に掲載している要綱(p.48,49)の修正シールを配布しています。該当ページに貼付してご利用ください。

募金の流れ



※配分基本額:世帯数を元に設定